

最近のニュースで外国人観光客が年間最高更新で 2600 万人を超えたとありました。よくわからない数です。その数字を聞いて、鎌倉の中心部への車の乗り入れを今後制限していくというニュースを思い出しました。鎌倉の年間観光客数は 2000 万人を超えるそうです。はい、というわけで今秋のハイキングの行先はそんな鎌倉。建長寺という大きなお寺から鎌倉宮近くの瑞泉寺までつながる、天園ハイキングコースというのがあるんです。



建長寺の境内に入り奥へと階段を上っていくと、天狗の石像が目立つ半僧坊に着きます。富士見台があって澄んだ空気で見えました。みんながワットとなる側で、初参加の斎藤さんが「まだ上るの?」と聞いてきます。(そんなに富士山に無反応なの?)「まだだよ。」裏山へまだ階段が続きます。早くも今日一番の難所。といっても境内に入って 20 分ぐらいで、おそらく全部で 500 段ぐらい。大したことはありません。階段を上り終われば海と富士山が見渡せる、早くも今日一番の展望。そこへフーフー言って上がってきた松本さんはぐっと笑顔を見せてくれますが、後ろの景色をまだ見ていません。あっちを見て。「わーきれいーい」と言ったら数秒でそそくさと脇へ。大体の人がそのパターンですね。疲れなのか、振り返るのは違うのか、5 分前に富士山を見たから感動が少ないのか。斎藤さんは「まだ上るの?」と変わらず。(あれ?オレが富士山をありがたがっているだけかな?)「登りは大体終わり。」

尾根道にあたるのかこの先は少々の起伏がある程度です。ここ数回のハイキングで辛そうな姿がチラホラも見たので登りやすい山にしました。ちょっと簡単にすぎたかもしれません。順調にハイキングはすすみました。道は岩が多く、植物も個人的には面白みが少なかったのですが、先頭グループに久しぶりに参加していた毛利さんと宮島さん、すっかり後方グループの常連になっていた古川さんが数年ぶりに先頭に戻ってきて嬉しかったです。鄭さん幸坂さん含めて、前へ行きたがるみんなを止めたり、逆にのせられてペースが上がってしまって後続と差がついてしまったり。前述の斎藤さんも前にいておしゃべりしながら、起伏に「まだ上がるじゃん!」二三次愚痴をこぼしていました。「上がるってなに?これくらいは山では平坦に入るんだよ。」ただ、体力があるのはよくわかりました。今後ものにぎやかにしてほしいものです。



紅葉の見ごろには少し早い 11 月下旬でも、天園ハイキングコースには多くの方がいましたし、帰りに通った鶴岡八幡宮から参道の若宮大路といたら。日光の東照宮にも行ったし人混みが初めてではないけれど、葦の会のテイストとは違う気がします。解放感というか、伸び伸び感というか。みんなも大観光地の真ん中で何か考えるところがあったんじゃないかな…。次回は、体力の心配は減ったので、葦の会らしい山を探していこうと思います。(樫崎)



紅葉の見ごろには少し早い 11 月下旬でも、天園ハイキングコースには多くの方がいましたし、帰りに通った鶴岡八幡宮から参道の若宮大路といたら。日光の東照宮にも行ったし人混みが初めてではないけれど、葦の会のテイストとは違う気がします。解放感というか、伸び伸び感というか。みんなも大観光地の真ん中で何か考えるところがあったんじゃないかな…。次回は、体力の心配は減ったので、葦の会らしい山を探していこうと思います。(樫崎)

紅葉の見ごろには少し早い 11 月下旬でも、天園ハイキングコースには多くの方がいましたし、帰りに通った鶴岡八幡宮から参道の若宮大路といたら。日光の東照宮にも行ったし人混みが初めてではないけれど、葦の会のテイストとは違う気がします。解放感というか、伸び伸び感というか。みんなも大観光地の真ん中で何か考えるところがあったんじゃないかな…。次回は、体力の心配は減ったので、葦の会らしい山を探していこうと思います。(樫崎)

紅葉の見ごろには少し早い 11 月下旬でも、天園ハイキングコースには多くの方がいましたし、帰りに通った鶴岡八幡宮から参道の若宮大路といたら。日光の東照宮にも行ったし人混みが初めてではないけれど、葦の会のテイストとは違う気がします。解放感というか、伸び伸び感というか。みんなも大観光地の真ん中で何か考えるところがあったんじゃないかな…。次回は、体力の心配は減ったので、葦の会らしい山を探していこうと思います。(樫崎)

